

平成 26 年度「英語能力判定テスト」における 大池中学校の結果の概要と今後の取組について

大阪市では、生徒の英語力の充実と向上を図るため、教育振興基本計画*に基づき、英語イノベーション事業*の一環として、「英語能力判定テスト」を実施いたしました。このテストの目的は、生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、学校における英語の指導の改善を図ることにあります。

学習指導要領における中学校英語の目標は、4 技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）を総合的に活用できるコミュニケーション能力の育成と示されております。本テストで測定できるのは英語力の一部ですが、本校では、結果をふまえ、生徒の総合的な英語力向上を目指してまいります。

- 1 目 的
- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
 - (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

2 対 象 大阪市立大池中学校 全生徒

3 実 施 日

- ・ 3 年 生 平成 2 6 年 1 0 月 2 9 日（水）
- ・ 2 年 生 平成 2 7 年 2 月 3 日（火）
- ・ 1 年 生 平成 2 7 年 2 月 3 日（火）

4 内 容

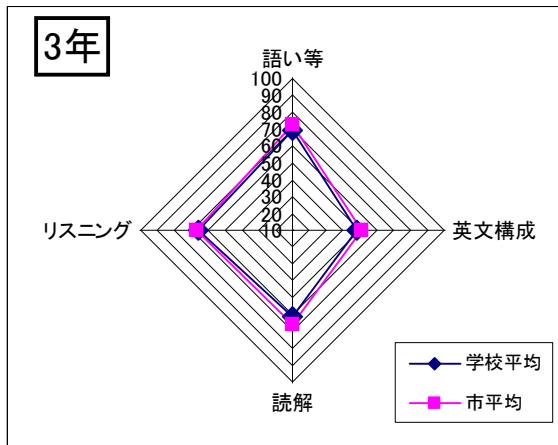
学年	テストの種類	テストの難易度	テスト内容		満点 スコア
			筆記問題	リスニング問題	
3 年	テストD	英検 3～5 級レベル	50 題	30 題	460 点
2 年	テストE	英検 4～5 級レベル	40 題	25 題	400 点
1 年	テストF	英検 5 級レベル	25 題	25 題	340 点

*教育振興基本計画…本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画

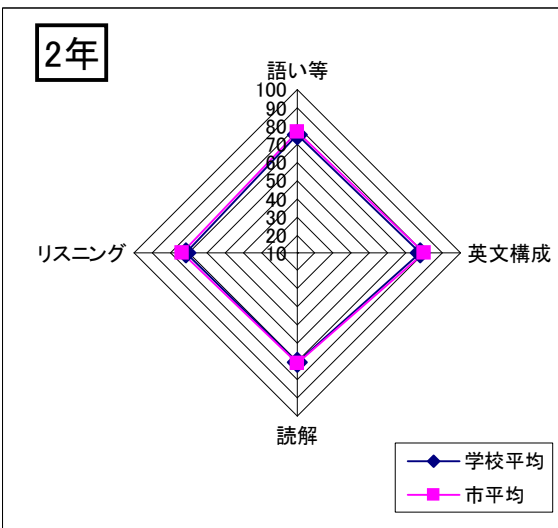
*英語イノベーション事業…本市の英語教育強化を図るための事業

「英語能力判定テスト」結果の概要と今後の取組 大池中学校

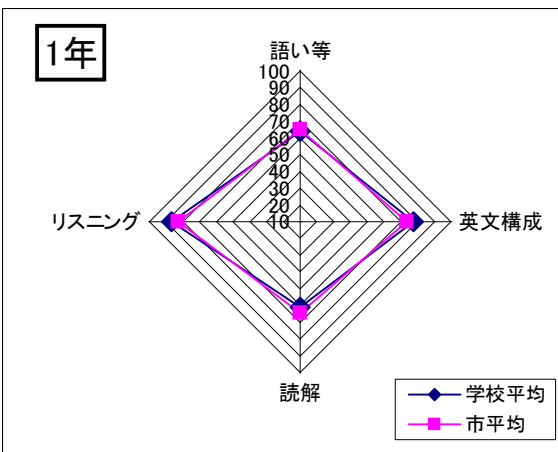
3年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	68.6	48.2	61.2	65.4
市平均	72.2	51	65.6	66.4



2年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	75	77.6	70.2	71.4
市平均	76.8	80	70.7	73.3



1年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	63.7	77	60.5	86.2
市平均	64.4	73.4	64.1	82.4



結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

3年

英検3～5級レベル:スコア 0～460点

《結果の概要》

「語い等」や「リスニング」の分野の正答率は市の平均には至らなかったが、市平均に近い正答率であった。「英文構成」や「読解」については課題があり、「読むこと」や「語順」の指導を充実させることが必要である。

《結果をふまえた今後の取組》

「英文構成」は、基本的な語順、文法事項の復習を行い、「読解力」の向上につなげる。また、全体的な英語力アップを狙うために語い力の向上に力を入れる必要があり、絵や写真等の視覚的な支援や、繰り返し単語を練習できるような帯活動を行うことによって、英語の使用量を増やすことが必要である。

2年

英検4～5級レベル:スコア 0～400点

《結果の概要》

「語い等」「リスニング」「読解」の分野は、市平均には至らなかったが、市平均に近い正答率であった。「英文構成」については課題がある。

《結果をふまえた今後の取組》

引き続き、基礎的・基本的な知識・技能の習得に力を入れて取り組む。1、2年生の学習内容の復習を授業時間でも行いながら、語い力の向上、語順の習得、文法活用力の強化に重点をおいて進める。まとまった量の英語を聞いたり、読んだりすることに抵抗感がある生徒もいるので、授業の中での英語の使用量を増やししながら、繰り返し練習していく。

1年

英検5級レベル:スコア 0～340点

《結果の概要》

「英文構成」と「リスニング」は大阪市の平均を上回っているが、「読解」は正答率が6割なのでこれからの課題である。

《結果をふまえた今後の取組》

speakingを多く取り入れ全員が発音する機会を持ったことが一定の効果を出したと考えられるので今後も継続するとともに、まとまりのある文を読んで質問に答える等の時間を確保していきたい。